**2023年度 ノースウェスタン大学との協力協定に基づく成果発信プログラム【B区分】**

2023年　月　日

副学長（研究担当）殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 学部・研究科　職名：氏名： | 教職員番号 |
| 研究テーマ（複数選択可、番号を○で囲む） | 1. Social Development and Science Technology for Food /Agriculture　食・農の社会開発と科学技術）2. Gender Fair Responses to the COVID-19 Pandemic and Urgent Challenges　ジェンダー公正なCOVID-19 パンデミックへの対応・回復の課題3. Public Procurement as Social Responsibility and Promotion of Employing Persons with Disabilities　公共調達を活用した障害者雇用の促進のあり方4. Research DX and Multilingualism in the Post-COVID Era　ポストコロナ時代の研究DXとマルチリンガリズム5. Locally-led Disaster Management and Humanitarian Assistance in Asia: Local Knowledge as Disaster Response Capacity　アジアにおける現地主導の災害管理と人道支援：災害対応能力としてのローカルナレッジ |

|  |
| --- |
| Ⅰ．研究課題に対する問題意識、課題設定、それに沿った活動の成果について選択した研究テーマに対する問題意識、課題設定、および過年度の活動成果について、具体的かつ明確に記述してください。（字の大きさは10.5ポイント） |
|  |
| Ⅱ．課題解決に向けた貢献についてⅠの問題意識、課題設定に基づき、解決すべき課題について具体的かつ明確な知見や今後に向けた方向性を記述してください。また、産業界・官界・NGO等の実務家や専門家の協力をどの程度得られたかを具体的に記述してください。（字の大きさは10.5ポイント） |
|  |
| Ⅲ．提言や貢献についてⅠ、Ⅱで設定した課題の解決に向けて、研究活動を通じてどのような提言・貢献が出来るのか具体的かつ明確に記述してください。このセクションではメンバー一覧を表形式（氏名、所属、職位、担当）でお示しください。（字の大きさは10.5ポイント） |
|  |
| Ⅳ．グローバルな提言や貢献についてⅠ、Ⅱ、Ⅲ について、英文出版やe-bookを通じて国際的に発信する内容やありうべき提言について、具体的かつ明確に記述してください。（字の大きさは10.5ポイント） |
|  |
| **Ⅴ．関連する研究実績とその研究成果**これまでに受けた学外研究費（科学研究費助成事業－科研費－、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究に関連するものを選定し、それぞれの研究費毎に、資金制度名（科研費については研究種目名）、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果や中間・事後評価結果を簡潔に記述してください。（字の大きさは10.5ポイント） |
|  |